

コモンズとは…労働者農民市民が協働して、国家と私を超えた自治と生産の共同の場を、共に作り合うこと



■発行所/コモンズ
 ■編集機関紙局/東京都中野区新井2-7-12-25号
 コモンズ政策研究機構内
 ■電話: 03-3389-0411 Fax: 03-3389-8573
 ■編集/革命21
 ■The Communist Association for Revolution Movement 21
 ■本部/大阪市西区川口2-4-2 協働センター内
 ■電話: 06-6582-6556

■郵送購読料/1部500円、半年2500円(一年5000円)
 ■郵便振替口座/00100-5-391171(コモンズ政策研究機構)

沖縄県知事選挙

玉城デニーさん最多40万票に圧勝!! 自公の「総力戦」打ち破った沖縄県民の歴史的勝利 安倍政権は辺野古新基地建設を断念せよ!

9月30日、辺野古新基地建設の是非が最大の争点となった沖縄県知事選挙で、翁長雄志知事の遺志を継ぎ「辺野古阻止」を掲げた「オール沖縄」の玉城デニー氏が39万6541票を獲得し、自・公・維新・希望推薦の前辺野古市長の佐喜真淳氏を8万票の大差をつけ圧勝した。安倍政権は県民の審判を重く受け止め、辺野古新基地建設を即時停止し白紙撤回しなければならぬ。

「沖縄のことは沖縄で決める」 辺野古阻止へ翁長さんの遺志を継ぐ圧倒的民意

新基地推進の安倍政権が官邸主導で国家権力を総動員して臨んだ異例の「オール沖縄」の玉城デニー氏に重なり、政府の言いなりでなく、沖縄のことは沖縄で決めるというウチナーンチュの魂と意志を示した沖縄県民である。台風襲来にもかかわらず過去最多の40万票に迫る歴史的勝利をもって、沖縄県民は前回に続き、「辺野古阻止」の強い民意を改めて示した。辺野古の現場では市民が歓喜の声をあげた。身体を張って闘いの先頭に立つ沖縄平和運動センターの山城博治議長は「皆さんのおかげだ。ありがとう。私たちの闘いを全国・世界に発信していく」と決意を述べた。

こうして、へり基地反対協会の安次富澤共同代表は、県民が翁長雄志知事の思いを自分のものとして引き継いだ結果だとそれを語った。

10月4日、玉城デニー新知事は就任記者会見で「翁長前知事の遺志を引き継ぎ、今こそ県民が心一つに誇りある豊かな沖縄の実現をめざす」「普天間基地の閉鎖・渡辺、辺野古新基地建設阻止に向け全身全霊で取り組んでいく」と決意を述べた。

今後、安倍政権が「辺野古」移設が唯一の解決策と県の承認撤回効力停止の法的手続きを取り、法廷闘争が想定されるが、玉城デニー氏の勝利は沖縄の「ウチナーンチュ」の選択による圧倒的民意であり、安倍政権がこれをなげきつづけることは決して許されぬ。

今回の知事選挙で、激戦を繰り上げた玉城、佐喜真両氏がその公約に「日米地位協定の見直しを掲げた」とも告げ、玉城デニー氏の勝利は、沖縄と日米両政府との「辺野古新基地建設を巡る攻防」が、安倍政権が新基地建設を断念するまで、沖縄の米海兵隊の撤退・米軍基地の存続と日米地位協定の在り方を根本から問う攻防の新しい段階に繰り上がることを意味している。この「辺野古新基地建設阻止の沖縄県民の闘い」は、沖縄への構造的差別と米軍基地を擁護する日本国家の対米隷従のあり方、この根にある日米地位協定・日米安保条約の根幹にふれる闘いである。この本質を、安倍政権に対する政治的態度の是非にかかわらず、国内外に可視化させるものとなる。

公明党は5〜6000人の創価学会員を全国から動員し、原田会長の陣頭指揮で期日前投票へ動員し、自民党は企業・団体へ「仕事と金」と引き換えに「ノルマを課して期日前投票に動員した。しかし、締め付けは締め付けられるほど自公陣営内に不満と反発が広がった。他方で中央権力をもって沖縄の民意を押しつぶそうとするはずの翁長知事を「くたした」とし、喪失感に沈んだ県民の心に翁長さんの遺志を継ぎ「政府の言いなりでなく、沖縄のことは沖縄で決める」との思いが強まり、ウチナーンチュの「マグマ」が噴き出て自公勢力の「勝利の方程式」を崩壊させた。

結果、知事選挙では、自民党支持層の24%、公明党支持層の27%、無党派層のほとんどが玉城デニーさんに投票した。「マグマ」の底流には、米占領期以来、民主主義と自治で自己決定権を求め、沖縄の尊厳を求め、日米両政府の植民地主義、沖縄差別と闘ってきた沖縄県民の闘いの歴史と不屈の「戦う民意」(DNA)がある。

こうして知事選挙は、直前の自民党総裁選での石破氏の善戦を支えた自民党の「地方の乱」、その後の第4次改選内閣のあまのりにとどまらず、国家への野望のため民主主義と地方自治を振り回す構図を破壊する安倍強権政治「フー」の民意の拡がりを示し、総じて安倍政権の「終わりの始まり」を国内外に告げることができた。

今回の知事選挙で、激戦を繰り上げた玉城、佐喜真両氏がその公約に「日米地位協定の見直しを掲げた」とも告げ、玉城デニー氏の勝利は、沖縄と日米両政府との「辺野古新基地建設を巡る攻防」が、安倍政権が新基地建設を断念するまで、沖縄の米海兵隊の撤退・米軍基地の存続と日米地位協定の在り方を根本から問う攻防の新しい段階に繰り上がることを意味している。この「辺野古新基地建設阻止の沖縄県民の闘い」は、沖縄への構造的差別と米軍基地を擁護する日本国家の対米隷従のあり方、この根にある日米地位協定・日米安保条約の根幹にふれる闘いである。この本質を、安倍政権に対する政治的態度の是非にかかわらず、国内外に可視化させるものとなる。

今回の知事選挙で、安倍政権・与党は菅官房長官、「二階崩壊した自公」勝利の方程式「安倍政権の『終わりの始まり』」

今回の知事選挙で、安倍政権・与党は菅官房長官、「二階崩壊した自公」勝利の方程式「安倍政権の『終わりの始まり』」

今回の知事選挙で、安倍政権・与党は菅官房長官、「二階崩壊した自公」勝利の方程式「安倍政権の『終わりの始まり』」

今回の知事選挙で、安倍政権・与党は菅官房長官、「二階崩壊した自公」勝利の方程式「安倍政権の『終わりの始まり』」

労働組合のつぎの弾圧抗議の22集結集会
労働組合活動それ自身を違法とする
関西生コン弾圧に大反撃を

労働組合のつぎの弾圧抗議の22集結集会
労働組合活動それ自身を違法とする
関西生コン弾圧に大反撃を

労働組合のつぎの弾圧抗議の22集結集会
労働組合活動それ自身を違法とする
関西生コン弾圧に大反撃を

労働組合のつぎの弾圧抗議の22集結集会
労働組合活動それ自身を違法とする
関西生コン弾圧に大反撃を

労働組合のつぎの弾圧抗議の22集結集会
労働組合活動それ自身を違法とする
関西生コン弾圧に大反撃を

労働組合のつぎの弾圧抗議の22集結集会
労働組合活動それ自身を違法とする
関西生コン弾圧に大反撃を

労働組合のつぎの弾圧抗議の22集結集会
労働組合活動それ自身を違法とする
関西生コン弾圧に大反撃を

労働組合のつぎの弾圧抗議の22集結集会
労働組合活動それ自身を違法とする
関西生コン弾圧に大反撃を

労働組合のつぎの弾圧抗議の22集結集会
労働組合活動それ自身を違法とする
関西生コン弾圧に大反撃を

労働組合のつぎの弾圧抗議の22集結集会
労働組合活動それ自身を違法とする
関西生コン弾圧に大反撃を

労働組合のつぎの弾圧抗議の22集結集会
労働組合活動それ自身を違法とする
関西生コン弾圧に大反撃を

労働組合のつぎの弾圧抗議の22集結集会
労働組合活動それ自身を違法とする
関西生コン弾圧に大反撃を

労働組合のつぎの弾圧抗議の22集結集会
労働組合活動それ自身を違法とする
関西生コン弾圧に大反撃を

労働組合のつぎの弾圧抗議の22集結集会
労働組合活動それ自身を違法とする
関西生コン弾圧に大反撃を

労働組合のつぎの弾圧抗議の22集結集会
労働組合活動それ自身を違法とする
関西生コン弾圧に大反撃を

労働組合のつぎの弾圧抗議の22集結集会
労働組合活動それ自身を違法とする
関西生コン弾圧に大反撃を

労働組合のつぎの弾圧抗議の22集結集会
労働組合活動それ自身を違法とする
関西生コン弾圧に大反撃を

労働組合のつぎの弾圧抗議の22集結集会
労働組合活動それ自身を違法とする
関西生コン弾圧に大反撃を

労働組合のつぎの弾圧抗議の22集結集会
労働組合活動それ自身を違法とする
関西生コン弾圧に大反撃を

労働組合のつぎの弾圧抗議の22集結集会
労働組合活動それ自身を違法とする
関西生コン弾圧に大反撃を

労働組合のつぎの弾圧抗議の22集結集会
労働組合活動それ自身を違法とする
関西生コン弾圧に大反撃を

労働組合のつぎの弾圧抗議の22集結集会
労働組合活動それ自身を違法とする
関西生コン弾圧に大反撃を

労働組合のつぎの弾圧抗議の22集結集会
労働組合活動それ自身を違法とする
関西生コン弾圧に大反撃を

労働組合のつぎの弾圧抗議の22集結集会
労働組合活動それ自身を違法とする
関西生コン弾圧に大反撃を

労働組合のつぎの弾圧抗議の22集結集会
労働組合活動それ自身を違法とする
関西生コン弾圧に大反撃を

労働組合のつぎの弾圧抗議の22集結集会
労働組合活動それ自身を違法とする
関西生コン弾圧に大反撃を

労働組合のつぎの弾圧抗議の22集結集会
労働組合活動それ自身を違法とする
関西生コン弾圧に大反撃を

労働組合のつぎの弾圧抗議の22集結集会
労働組合活動それ自身を違法とする
関西生コン弾圧に大反撃を



ワールドニュース レビュー・最新レポート

世界潮流

南北の自主統一へ、歴史の歯車は後戻りせず



今年3回目の南北首脳会談 実質的な「終戦宣言」に合意

9.18 南北首脳会談の重大性とは

歴史的な板門店宣言履行のための軍事分野合意書<全文>

南と北は、朝鮮半島における軍事的緊張状態を緩和し信頼を構築することが恒久的で強固な平和を保障する上で必須という共通認識のもとに、「朝鮮半島の平和と繁栄、統一のための板門店宣言」を軍事的に徹底して履行するために、次の通り包括的に合意した。

1. 南と北は、地上と海上、空中をはじめとする全ての空間において、軍事的緊張と衝突の根源となる相手方に対する一切の敵対行為を全面的に中止することとした。
①双方は、地上と海上、空中をはじめとする全ての空間において、武力衝突を防止するために様々な対策を講じることとした。双方は軍事的衝突を引き起こすこととなる全ての問題を平和的な方法で協議・解決し、いかなる場合にも武力を使わないこととした。双方はいかなる手段や方法をして、相手方の管轄区域に侵入または攻撃、占領する行為を行わないこととした。双方は相手方を狙った大規模な軍事訓練ならびに武力増強問題、多様な形態の封鎖、遮断や航海の妨害、相手方に対する偵察行為の中止などについて、「南北軍事共同委員会」を移動させ、協議することとした。双方は軍事的緊張の解消及び信頼構築により、段階的軍縮を実現することに合意した。板門店宣言を具現するために、これに関連した多様な実行対策を継続して協議することとした。

②双方は、2018年11月1日から軍事分界線一帯において、相手方を狙った各種の軍事演習を中止することとした。地上では、軍事分界線から5km内、砲兵射撃訓練や連隊以上の野外機動訓練を全面的に中止することとした。海上では、西海南側のトクチョク島〔徳積島〕以北から北側のチョン島〔椒島〕以南までの水域、東海南側のソクチョ〔東草〕以北から北側のトンチョン〔通川〕以南までの水域において、砲撃ならびに海上機動訓練を中止し、海岸砲と艦砲の砲口と砲身へのカバー設置や砲門の閉鎖措置を行うこととした。空中では、軍事分界線の東、西部地域の上空に設定された飛行禁止区域内で、固定翼航空機の空対地誘導武器射撃など、実弾射撃を伴う戦術訓練を禁止することとした。

③双方は、2018年11月1日から軍事分界線上空において、全ての機種の飛行禁止区域を次の通り設定することとした。固定翼航空機は軍事分界線から東部地域（軍事分界線標識物第0646号から第1292号までの区間）は40km、西部地域（軍事分界線標識物第0001号から第0646号までの区間）は20kmを適用し、飛行禁止区域を設定する。回転翼航空機は軍事分界線から10kmに、無人機は東部地域で15km、西部地域で10kmに、気球は25kmとする。但し、山火事の鎮火、海上での遭難救助、患者の搬送、気象観測、営農支援などにより飛行機の運用が必要な場合には、相手側に事前通報を行い飛行できることとする。民間旅客機（貨物機を含む）については、上記の飛行禁止区域を適用しない。

④双方は、地上と海上、空中を含む全ての空間で、いかなる場合にも偶発的な武力衝突の状況が発生しないよう対策を講じることとした。このため地上と海上においては警告放送→2次警告放送→警告射撃→2次警告射撃→軍事的措置の5段階に、空中においては警告発信ならびに信号→遮断飛行→警告射撃→軍事的措置の4段階の手順を適用することとした。双方は修正された手順について、2018年11月1日から施行することとした。

⑤双方は、地上と海上、空中をはじめとする全ての空間において、いかなる場合でも偶発的な衝突が発生しないよう常時連絡体系を移動させ、非正常な状況が発生した場合には即時に通報するなど、全ての軍事的問題を平和的に話し合っ解決することとした。

2. 南と北は、非武装地帯を平和地帯につくるための実質的な軍事的対策を講じることとした。
①双方は、非武装地帯内で監視所（GP）を全部撤収するための試験的措置として、相互1km以内の近接する南北監視所を完全に撤収することとした。
②双方は、板門店共同警備区域を非武装化するすることとした。
③双方は、非武装地帯内において試験的に南北共同で遺骨発掘を行うこととした。
④双方は、非武装地帯内の歴史遺跡についての共同調査及び発掘と関連した軍事的保障対策を継続協議することとした。

3. 南と北は、西海の北方限界線一帯を平和水域につくり、偶発的な軍事的衝突を防止し、安全な漁労活動を保障するための軍事的対策を講じることとした。
①双方は、2004年6月4日の第2回南北将官級軍事会談で署名した「西海海上での偶発的な衝突防止 関連合意を再確認し、全面的に復元・履行することとした。
②双方は、西海海上において平和水域と試験的共同漁労区域を設定することとした。
③双方は、平和水域と試験的共同漁労水域に立ち入る人員や船舶に対する安全を徹底して保障することとした。
④双方は、平和水域と試験的共同漁労区域内で不法漁労の遮断や南北漁民の安全な漁労活動を保障するために、南北共同の巡視方策を整備、施行することとした。

4. 南と北は、交流協力ならびに接触、往来活性化に必要な軍事的保障対策を講じることとした。
①双方は南北管理区域における通行、通信、通関（3通）を軍事的に保障するための対策を講じることとした。
②双方は東、西海線の鉄道、道路連結と現代化のための軍事的保障対策を講じることとした。
③双方は北側船舶のヘジュ〔海州〕直行路利用とジェジュ〔済州〕海峡の通過問題などを南北軍事共同委員会で協議し、対策を講じることとした。
④双方は、漢江（臨津河）河口の共同利用のための軍事的保障対策を講じることとした。

5. 南と北は、相互軍事的信頼構築のための多様な措置を講じて行くこととした。
①双方は、南北軍事当局者間における直通電話の設置や運営問題について継続協議することとした。
②双方は、南北軍事共同委員会の構成ならびに運営と関連した問題を具体的に協議・解決することとした。
③双方は、南北軍事当局間で採択した全ての合意を徹底して履行し、その履行状態を定期的に点検、評価することとした。

6. この合意書は双方が署名し、それぞれ発効に必要な手続きを経てその文本を交換した日から効力が発生する。
①合意書は双方の合意により修正ならびに補充することが出来る。
②合意書は2部作成され、同じ効力を有する。

2018年9月19日

文大統領は年内に朝鮮戦争の終結を宣言することが主要な目標との認識を示した。金委員長との3日間の会談で、核問題を巡る米朝協議の再開に多くの時間を割いたこと、金委員長は米朝が相応の対応をすれば専門家の監視の下で主要なミサイル関連核施設を永久的に廃棄する意思があることを述べたことも明らかにした。

文大統領によれば、首脳会談後の共同声明には、金委員長が核プログラムの「検証可能で不可逆的な廃棄」に向けた確認事項が盛り込まれたこと、今回の訪朝随員にはサムスン、SK、LGからも創業者出身のトップが参加した。経済界として南北経済協力を支持する姿勢をアピールする形だ。これら韓国の大財閥の代表や現代自動車、鉄鋼大手のポスコやKT（情報技術）企業などからも代表が同行した。

韓国大統領府は16日、「北朝鮮の非核化を前提に朝鮮半島に交通・物流網やエネルギー網を張り巡らせる」新経済構想の前進に意欲を示す。期待されることとした。韓国大統領府によると、経済、文化、社会などの関係者、構成する今

南北首脳会談を終えた文大統領は20日、金氏が非核化加速に向けトランプ米大統領との2回目の会談を望んでいることを明らかにした。

韓国の特別随員は52人。これとは別に統一相や外相ら14人の政府高官が公式随員として訪朝するなど総動員の姿勢が明らかだった。

韓国・太陽政策の中心 元老諮問団懇談会 南北首脳会談前の13日、ソウル市内で元老諮問団懇談会が行われた。

文大統領は年内に朝鮮戦争の終結を宣言することが主要な目標との認識を示した。金委員長との3日間の会談で、核問題を巡る米朝協議の再開に多くの時間を割いたこと、金委員長は米朝が相応の対応をすれば専門家の監視の下で主要なミサイル関連核施設を永久的に廃棄する意思があることを述べたことも明らかにした。

文大統領によれば、首脳会談後の共同声明には、金委員長が核プログラムの「検証可能で不可逆的な廃棄」に向けた確認事項が盛り込まれたこと、今回の訪朝随員にはサムスン、SK、LGからも創業者出身のトップが参加した。経済界として南北経済協力を支持する姿勢をアピールする形だ。これら韓国の大財閥の代表や現代自動車、鉄鋼大手のポスコやKT（情報技術）企業などからも代表が同行した。

韓国大統領府は16日、「北朝鮮の非核化を前提に朝鮮半島に交通・物流網やエネルギー網を張り巡らせる」新経済構想の前進に意欲を示す。期待されることとした。韓国大統領府によると、経済、文化、社会などの関係者、構成する今

南北首脳会談を終えた文大統領は20日、金氏が非核化加速に向けトランプ米大統領との2回目の会談を望んでいることを明らかにした。

韓国の特別随員は52人。これとは別に統一相や外相ら14人の政府高官が公式随員として訪朝するなど総動員の姿勢が明らかだった。

韓国・太陽政策の中心 元老諮問団懇談会 南北首脳会談前の13日、ソウル市内で元老諮問団懇談会が行われた。

南北首脳会談を終えた文大統領は20日、金氏が非核化加速に向けトランプ米大統領との2回目の会談を望んでいることを明らかにした。

韓国の特別随員は52人。これとは別に統一相や外相ら14人の政府高官が公式随員として訪朝するなど総動員の姿勢が明らかだった。

韓国・太陽政策の中心 元老諮問団懇談会 南北首脳会談前の13日、ソウル市内で元老諮問団懇談会が行われた。

「朝鮮半島の平和と繁栄、統一のための板門店宣言」(4月27日、板門店)(要旨)

1. 南と北は南北関係の全面的で画期的な改善と発展を成し遂げるにより、途絶えた民族の血脈をつなぎ、共同繁栄と自主統一の未来を引き寄せていく。南北関係を改善し、発展させることは、すべての同胞の途な願いであり、これ以上、先延ばしにすることができない、時代の切迫した要求だ。

(1)南と北は、わが民族の運命は、われわれ自ら決定するという民族自主の原則を確認し、これまでに採択された南北宣言と、あらゆる合意を徹底的に履行することにより、関係改善と発展の転換的な局面を開いていくこととした。

(2)南と北は高位級(閣僚級)会談をはじめとする、各分野の対話と協議を、早い日時に開催し、首脳会談で合意された問題を実践するための積極的な対策を立てていくこととした。

(3)南と北は、当局間協議を緊密にし、民間交流と協力を円満に保障するために、双方の当局者が常駐する南北共同連絡事務所を開城(ケソン)地域に設置することとした。

(4)南と北は民族的な和解と団結の雰囲気を高めていくために、〈略〉外には2018年アジア競技大会をはじめとする国際競技に共同で進出し、団結した姿を全世界に誇示することとした。

(5)南と北は民族的な分断により発生した人道的な問題を、至急に解決するために努力し、南北赤十字会談を開催し、離散家族・親戚再会をはじめとする諸般の問題を協議、解決していく〈略〉

(6)南と北は民族経済の均衡的な発展と共同繁栄を実現するために、「10.4宣言」で合意した事業を積極的に推進していき、一次的に東海線および京義線鉄道と道路を連結し現代化させ、活用するために実践的な対策を行っていくこととした。

2. 南と北は朝鮮半島で尖鋭な軍事的な緊張状態を緩和し、戦争の危険を実質的に解消するために共同で努力していく。〈簡条のみ〉

(1)南と北は地上と海上、空中をはじめとするあらゆる空間で敵対行為を全面的に中止する。(2)南と北は西海の北方限界線(NLL)一帯を平和水域に。(3)南と北は様々な軍事的な保障対策のため、軍事当局者会談を頻りに開催。

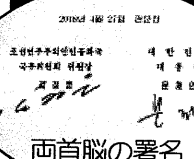
3. 南と北は朝鮮半島の恒久的で強固な平和体制構築のために積極的に協力する。〈簡条のみ〉朝鮮半島での非正常な現在の停戦状態を終息させ、確固とした平和体制を樹立することは、これ以上、先延ばしすることができない歴史的な課題だ。

(1)南と北はいかなる形態の武力も互いに使わない…(2)…段階的に軍縮を実現していくこととした。(3)…65年になる今年に、終戦を宣言し、恒久的で強固な平和体制の構築のための南北米3者、南北米中4者会談の開催を積極的に推進していく。

(4)南と北は、完全な非核化を通じ、核のない朝鮮半島を実現するという共通の目標を確認した。差し当たって、文在寅大統領は、今年秋に平壤を訪問することとした。〈以下略〉

2018年4月27日 板門店 大韓民国大統領 文在寅 朝鮮民主主義人民共和国国務委員会委員長 金正恩

南北、全ての陸・海・空 あらゆる敵対行動を解消



冷戦の産物、南北分断を終わらせ、平和の地帯に

天皇制と闘うとはどういうことか

(第3回)

iii. 象徴天皇制 起源の欺瞞—「国体」護持のために沖縄は売り渡された

菅孝行 (評論家、変革のアソシエーション委員)



占領統治の構想

加藤哲郎の『象徴天皇制の起源』によるとアメリカ軍戦略情報局(OSS)CIAの前身は1942年、既に日本占領後の統治に關して「日本計画」と呼ばれるマスタープランを策定していた。紆余曲折があったが占領統治の骨格はほぼこの計画に沿ったものとなった。その要点は①天皇制の存置による間接統治②武装解除③戦争裁判における天皇の不訴追である。

天皇制存置の目的は当時日本国民の天皇崇敬の念を占領統治に利用するためである。存置する以上、裁判での訴追も得策ではなかった。アメリカは天皇を

革命より敗戦！

東条英機の前の首相だった近衛文麿は、1945年2月、戦争を継続すれば内乱によって国体が変革される危険が高いから、早急に戦争を終結すべきだと天皇に進言した。革命より敗戦による国体護持を述べたのである。世に言う近衛上奏文だ。天皇は、和平交渉を有利にするには、一度戦果を挙げたから、即時終結に消極的だった。4月にはアメリカが沖縄に上陸し、5月にはドイツ

マッカーサー・天皇・憲法

遂に天皇は敗戦による国体護持」を選択した。いや、選択の余地は既になかったといふべきだろう。「玉音放送」は不倶戴天の「鬼畜米英」が国体を護持してくれ

占領軍は、9月11日、東条以下37人を戦争犯罪人として逮捕した。その上で、マッカーサーは、27日に天皇裕仁と会見した。日米両国は「戦争の全責任を自分が背負ってマッカーサーにすべてを委ねた天皇、天皇の人格に感銘を受けたマッカーサー」という相互信頼のイメージを、占領期間を通じて繰り返し最大限にアピールし、円滑な占領統治の手段に使った。この間の経緯は「ダワー」『敗北を基本的人権や法の下の平等の範囲が草案では人民



4日、国務大臣松本泰治が提示した松本私案は軍の解体を受け入れた以外、天皇主権を温存したほとんど明治憲法を踏襲した代物だった。当然GHQは承認せず、主権在民(天皇主権の否定)、基本的人権、戦争放棄を定めた現憲法の原案となるGHQ側草案を2月12日、日本政府に提示した。しかし、彼らは先述の理由から天皇制廃絶を求めなかった。

基本的な人権や法の下の平等の範囲が草案では人民

「主犯」不在の極東軍事裁判

46年5月3日、極東軍事裁判は開廷した。天皇は訴追されず、東条らいわゆるA級戦犯だけに戦争責任は転嫁された。ニュールンベルク、及び東京での第二次世界大戦後の軍事法廷では、旧来の戦時国際法による戦争犯罪(B級)だけでなく平和に対する罪(A級)一人道に対する罪(C級)が訴追された。国家権力の座にあった者による侵略戦争の共同謀議は「平和に対する罪」で裁かれた。海外で行われたB級裁判では、多くの軍人・軍属、兵士が極刑に処せられたが、宣戦を布告した天皇は裁かれな

「沖縄メッセージ」 天皇最大の「政治」

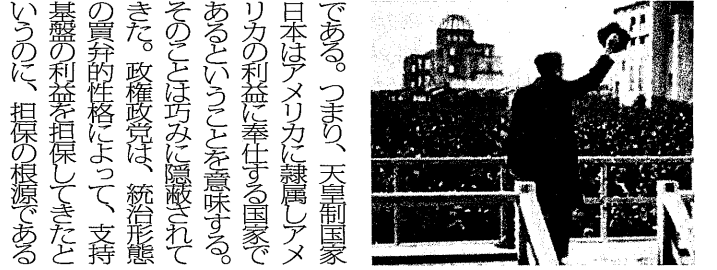
45年の暮から天皇裕仁は全国巡幸を開始した。更に46年元旦には「人間宣言」と呼ばれる詔書を公にした。これは占領政策によって天皇制が延命すること、ただしそれはもはや「現人神」ではなく「人間」としてであることを国民に示唆するパフォーマンスだった。

そして、47年5月3日に発布された憲法によって、天皇は国政に關与する権能を失った。ところが、79年に政治学者進藤栄一がアメリカ国立公文書館で発見した資料から、天皇裕仁が47年9月、腹心の寺崎英成を介して占領軍総司令部政治顧問シーボルトに日本の独立後も米軍が沖縄に長期に駐留することを天皇が希望している旨のマッカーサー宛メッセージを伝えていたことが判明した(詳細は進藤

買弁天皇制国家 欺瞞の果て

日本がサンフランシスコ講和条約で、アメリカの意向に沿って「独立」したと、裕仁は漸く国政の権能を持たない象徴に自己を純化した。裕仁としては、三種の神器を守り、憲法に天皇制を存置させ、第二次世界大戦の敵国アメリカを反共の盾とするために、沖縄を軍事基地として無期限讓渡し、講和条約でも反共主義的部分講和を表現することに尽力し、任務を終えたと判断したのである。だがその結果成立した戦後天皇制国家とはいかなる性格の国家であったか。藤田省三は『天皇制国家の支配原理』において、戦後天皇制を「買弁天皇制」と定義している。買弁とは、他

講和条約と天皇



研究者の間には「沖縄メッセージ」の政治的役割を否定する議論も存在するが、筆者は豊下の実証に

による。研究者の間には「沖縄メッセージ」の政治的役割を否定する議論も存在するが、筆者は豊下の実証に



私が集団・組織を恐れているわけ

芦沢理帆

組織や集団を恐れる 二つの理由

運動界隈にいると、いろいろな集団・組織と関わることになる。しかし私はなぜだかいつも、そうした組織にどっぷりと関わることが恐れてしまっている。

自分一人の力では社会を委ねることができないし、仲間がいた方がいいに決まっている。そう思いつつ、同じ志を持つ人達に囲まれると心が距離を取りたがって、自分がそこにはいないような気がしてしまっている。

原因はおそらく、私が組織や集団というものに対してかなり懐疑的であるところにあると思う。考えつく理由は二つだ。

一つ目、人は集団になると、一人ではできないような大胆な行動に走りがちである。それは時によってとても勇気のある行為であったり、ひどく残虐な行為であったりする。

二つ目、組織は自らの存続のために、構成員である一人ひとりの人間をないがしろにしてしまう傾向がある。

例えば、一九二三年の関東大震災時に発生した、朝鮮人大虐殺。大地震の発生という非常事態において多くの在日朝鮮人が日本の一般市民によって殺され、怪我を負わされた。日頃の差別意識も手伝ったのだと思うが、一人ひとりの冷静になれば踏みとまれた理不尽で残虐な行為が、集団によって平然と行われてしまったという歴史的事実がある。残虐な行為の責任が集団の中であつたからといって、プレーキが効かなくなってしまう。

のたがうか。一方で一九八〇年に韓国で起きた光州事件では、戒厳軍による暴力的な制圧に反対して市民が結集した。市民軍の反撃により一時的に戒厳軍が撤退していた数日間、住民による自治的なコミュニケーションが形成され秩序を保っていたという。圧倒的な武力に対抗するという行為は、いかにそこに大

義があつたとしても、相当の覚悟と勇気がなければできないものではないだろう。どちらの例も、そこに参加していた一人ひとりが「本当にそれをやるつもりですか」と改めて問うていたら、ほとんどの人が尻込みして踏みとまったのではないかと想像する。前者の残虐な暴力と後者の勇気ある決起と、両者は表裏一体である。国も時代背景も何もかも違つけれど、この二つの事件に私は同じような恐ろしさを感ずる。

個人と集団、個人と組織の関係

学生運動をしていて、威勢のいい仲間たちに囲まれる。自分にも大きなことができるのではないかと錯覚に襲われる。そしてその後不安に駆られる。自分がやうとしていたことは本当に正しいのだろうか。この集団の中で、自分は目的になつていないのだろうか。権力への批判を叫び理想の社会を語る仲間が急に、とても危うい存在に感じられてしまう。

個人が部分になるというところだ。そこでは個々の言動は、だんごのうちのひとつになり、個人の行動に対する責任の所在が曖昧になる。集団の中で自分がマジョリティーであることを喜び、それと同時に異議を唱えることが難しくなる。個々の意見の、複雑で微妙な差異は無視され、より簡潔に分かりやすい主張へと収斂されていく。時に、それは極めて過激な主張となる。このようにして、極端に

残虐な行為や捨身の勇敢な行為が発生しやすくなる。それがあつたとしても、相当の覚悟と勇気がなければできないものではないだろう。どちらの例も、そこに参加していた一人ひとりが「本当にそれをやるつもりですか」と改めて問うていたら、ほとんどの人が尻込みして踏みとまったのではないかと想像する。前者の残虐な暴力と後者の勇気ある決起と、両者は表裏一体である。国も時代背景も何もかも違つけれど、この二つの事件に私は同じような恐ろしさを感ずる。

かわらぬ構成員が半ば強制的に組織のために動員されるということも何度か経験した。そんなとき私はいつも自分はまだそこに居ない国家・政府の性質を批判しているのではなかったか、と自問せざるを得ない。つまり、国家という組織の存続・発展を最優先に考え、構成員である人一人ひとりを軽視してしまつて性質をこぼし、私は批判しているはずだった。それなのに、それと同じ矛盾に陥つてしまっている。

なぜこのような矛盾が生じてしまつたのだろうか。組織が結成されると、組織としての存在意義や目的が生まれる。組織は大抵の場合、似た目的を持つ個人が集めて形作られる。そのため組織の意思は構成員の意思の総体であるとなされてしまいがちなので、組織の意思が個人のそれよりも優先されることになる。さらに組織を存続させようとする意思が働くと、異なる意見を持つ人を排除しようとし、構成員を組織のために利用しようとする。こうして個人の集合体であったはずの組織が構成員をないがしろにするという矛盾が生じる。

どのような組織を目指せば良い集団・組織を目指せるのか

このような性質があるにもかかわらず、私達はきつとこれからの集団や組織を形作っていく。どのような組織を目指すべきか、また個人をないがしろにするのではなく、良い集団・組織を目指せることができるのだろうか。

例えは戦前の日本は、どうしてあんなにも盲目的に戦争にかかわらず、私達はきつとこれからの集団や組織を形作っていく。どのような組織を目指すべきか、また個人をないがしろにするのではなく、良い集団・組織を目指せることができるのだろうか。



全斗煥軍事政権に抵抗する人びと(光州事件1980年)

ば、あれほどの無様な歴史は残さなかつたのだろうか。もっと規模の小さな集団や組織の場合にも、おおよそ同じことが言える。同質の集団の中に閉じておいたような主張にしか触れないでいると、そのうち、別の意見が存在するかもしれないという可能性すら忘れてしまう。そうなってしまつておとな主張が極端化していき、異なる意見を述べざる者は異端者として排除する、という悪循環に陥る。そうならないためには、どんな意見にも批判が存在しうることを忘れず、常に外に対して開かれている必要がある。これは特定の目的を持った組織の場合にはかなり難しい。目的を実現するためにには構成員の意見は一致しているほうがスムーズだし、異議を唱える人がいないほうが組織は安定するからである。

歴史の経験に自覚的に学ぼう

しかし、理想を掲げて運動してはいる人々がたまたま道を誤つたに過ぎない。歴史を思い起こすならば、私たちがこのような組織の性質に自覚的ではなければいけない。そして、組織は個人の集合体であり、共通の目的を持つ人々が集まればじめて組織が成り立つのである。構成員が目的を共有しなくなつたならば、組織は必要ないということになる。肝に銘じておきたい。構成員のニーズが無くなつた時には組織を解体してしまつて、その批判について冷静に考えようである。

口で言うのは簡単だが、実際の集団や組織においてこれらのことを実行するのはとても難しい。上に述べたような集団の性質に構成員の皆が自覚的であつたとしても、私はその集団に安心して属することはできないだろう。けれども、自分一人では何かをし続けるほどの力も勇気もないから、私はおそろしく先ずうと、びくびくしながら、疑いながら組織をかかわり続ける。もしかしら疑つて、一番安全な方かもしれない。

国際短信

サンタース旋風をおしあげたミレニアル世代 米国の台頭する新しい波! 「社会主義」青年たち

いまでも、ミレニアル世代の政治動向が注目されている。ミレニアル世代とは、1980年から2000年の間に生まれ、成人前に21世紀を迎えた世代のことである。その一般的特徴として、過去のソ連・東欧圏との冷戦時代を知らず、社会主義へのアレルギーが無い。一方、2008年前後に起こったサブプライム住宅ローン危機やリーマン・ショックの被害を最も深刻に受け、格差・貧困の現実をさらされていく世代である。

ハーバード大学政治研究所が2016年3月、18〜29歳の若者3183人を対象に実施した調査では、51%の回答者が、資本主義は支持しないと回答。資本主義を支持する42%を超えていた。また、自分は資本主義者かと思つた若者は19%に留まった。ところが「社会主義を支持する」と回答した若者が33%もいたのだ。

2016年の米大統領選挙において「社会主義者」を自称するバーニー・サンタースが、民主主義予備選挙において米国のエスタブリッシュメント(体制派富裕層陣営)に支持されたヒラリー・クリントンに肉迫するサンタース

旋風を巻き起こしたが、彼を積極的に支持し、旋風を巻き起こした人びとの中には、圧倒的なミレニアル世代の貧困青年たちが存在している。たのである。グローバル経済の推進者であるクリントンに比較すれば、貧困問題に対する解決策では明らかにサンタース陣営の方がはるかに現実的であつたことが、多くの若者世代を惹きつけたと言えよう。



勝利したアレクサンドリア・オカシオ・コルテスさん

この機械は、ファシストを殺すー1本のギターに魂を込めて 社会の巨悪と闘う抵抗の歌がある

世界のプロテストソングアーティストの系譜① ウッディ・ガスリー<米国>



アカデミー賞2部門獲得 ガスリーの伝記映画 H・アッシュビー監督による1976年米国映画。荒廃した米国と云う風土を描いた音楽映画の秀作だ。邦題『ウッディ・ガスリー〜わが心のふるさと』

Wガスリーは生涯の社会主義者かつ労働組合活動家であり、労働階級向け新聞に常設コラムを持つ優れた執筆者でもあった。1912年オクラホマ州オケマーに生まれ、14歳の時母親が貧困の中で死去。一家は離散し、17歳の彼は金米中を日雇い労働者として放浪。19歳テキサスで彼は最初の妻マージェニングと出会い3人の子を持つ。

1940年代後半にはガスの健康は悪化し、1943年に完成し出版された。この時期に見た米国の貧困(スタインベックの『怒りの葡萄』に見られる)労働者階級が直面する状況に悩む宗教歌に対する

This land is your land

<我が祖国> by Woody Guthrie
This land is your land, this land is my land
From California to the New York Island, From the Redwood Forest, to the Gulf stream waters,
This land was made for you and me.
#この国は君のもの、僕のもの カリフォルニアからニューヨーク、赤いセコイアの森にメキシコ湾流の海まで 君のもの、僕のもの

Was a high wall there that tried to stop me
A sign was painted said: Private Property, But on the back side it didn't say nothing
This land was made for you and me.
#高い壁に阻まれ先には行けぬ...「私有地」って看板だけ 裏には何んも書かれてなんか無いこの国って、君のもの、僕のもの

In the squares of the city, In the shadow of a steeple, By the relief office, I'd seen my people.
As they stood there hungry, I stood there asking, Is this land made for you and me?
#街角の広場 教会の片隅 救済施設で多くの人を見た 腹をすかせ立つだけの人を 答えてくれ!この国って君のもの、僕のもの?
[訳・関西M]



©mkimpo

開会前のミニコンサートでは韓国民主闘争への連帯を表明して、朴槿恵政権を打倒した100万人のキャンドルデモで歌われた「真実はまだ来ない」が会場参加者により歌われた。

知事選に勝つて翁長雄志の無念を吐き出す。続いて沖縄平和運動センターの山城博治さんが発言に立った。今回の沖縄県知事選挙は、絶対な死を遂げ、命をかけて県民の未来のために心を砕いた翁長雄志知事の無念を吐き出す。その遺志を継いでいく。と叫び、選挙勝利への決意を語った。また選挙後の10月1日には埋め立て再開阻止のための結果を呼び掛けた。



シンガーソングライターから2016年初のノーベル文学賞に輝いたB.ディラン。彼の曲に折り込まれた痛烈な権力風刺と社会への眼差しの深さは、一人の偉大な抵抗ソングの先人なしには成立しなかった。彼がその師と仰ぐウッディ・ガスリーこそ、米国20世紀初頭の社会悪を糾弾し、大衆的怒りを平易な曲によって広めた歴史的音楽家の一人だ。



ディランが師と仰ぐ

コモンズ川柳

乱鬼龍
沖縄のこれが民意だデニー勝つ
オプジーボ悪政カンに効かないか
改造の内閣というこの程度
最悪のトウシユ全島野球吠え
地震台風確かに何か警生す

編集室から

●今月号の最大のニュースはなんとといっても玉城デニーさんの県知事選勝利、そして関西生コン支部への権力弾圧である。安倍政権は辺野古新基地建設向け権力の暴力装置をむき出しにして市民たちに襲いかかり、多くのけが人を出すとともに環境破壊を推し進めている。この強権的攻撃に対して、玉城デニーさんの県知事選勝利は県民に大きな希望を甦らせるものとなった。しかも歴代最大得票での当選である。本土政府の横暴に対する県民の怒りのすさまじさがわかる。●同じ国家権力の暴力装置が関西生コン支部にも襲いかかった。しかも委員長以下20名もの逮捕というすさまじさ。この弾圧は全国の労働者・市民への弾圧である。関西支部の闘いを全国に拡げよう! ●「コモンズ」紙への注目が高まっている。読者からの反応が少しずつ広がっている。しかし、まだまだ大衆的な機関紙とはいえない。採算を考えて購読料が高く設定されているが、もっと安くし、多くの人びとに読んでもらいたいと思う。できれば購読料を2倍に増やし、購読料を半額にしてゆきたい。読者のみなさん、「コモンズ」紙はこれからも読者にとって役立つ、闘いの新聞を目指す所存です。どうか購読者数倍増にご協力を願う。(幹)

コモンズ取扱店

- 群馬 ●三光堂書店 伊勢崎市大手町6の24 ☎0270(25)2347
- 神奈川 ●中原ブックランド 川崎市中原区小杉町3の1 ☎044(711)2346
- 東京 ●書泉グランデ 千代田区神田神保町1-3 ☎03(3295)0011 ●模索舎 新宿区新宿2の4の9 中江ビル1階 ☎03(3352)3557 ●豊川堂カルミア店 豊橋市花田町西宿無番地 豊橋ステーションビルカルミア ☎0532(55)2810 ●ウニタ書店 名古屋千種区内山3の33の8 新今池ビル ☎52(731)1380
- 岐阜 ●丸圭書店 美濃加茂市太田町2535の1 ☎0574(25)2281
- 香川 ●讃州堂書店 高松市松島町2の1の9 ☎087(834)1533
- 福岡 ●金修堂 福岡市中央区草香江2の2の7 ☎092(731)2612 ●ブックスじのん 宜野湾市真栄原2の3の3 ☎098(897)7241

「コモンズ」取扱店は今後も増やしていく予定です。

次号予告

- 弾圧に屈せず関生支部大会
- 臨時国会開会と安倍改憲策動
- 第三回米朝会談の行方
- 連載 天皇制と闘うとはどういふことか
- GSEFビルバオ大会に参加して

9.17さようなら原発全国集会

9月17日(月)、東京代々木公園野外音楽堂にてのちをつなぐろうしを守れ!フクシマと共に9.17さようなら原発全国集会が「さようなら原発」二千万署名市民の会の主催で開催され、8000人が結集した。



mappen

9.19日比谷野音集会以4800人

9月19日、「戦争させない・9条壊すな!総がかり行動実行委員会」(基地の県内移設に反対する県民会議)「止めよう!辺野古埋め立て!国会包囲実行委員会」の共催で、戦争法から3年、安倍9条改憲NO!沖縄・辺野古新基地建設阻止19.9.19日比谷野音集会が東京・日比谷野外音楽堂で開催された。会場は収容人員を超える4800人が結集し、場外にも人があふれた。

あきらめず一緒に歩こう

共同代表の高田健さんからは主催あいさつのおと、無所属の会、国民民主党、日本共産党、立憲民主党、社民党、など国会議員からのあいさつのおと、市民と野党共闘の勝利を願って「ガンバロー」三唱が行われた。安全保障関連法に反対する学者の会の上野千鶴さんは、3年前に民主主義が死んだとして喪服姿で登場し、憲法を踏みにじる安倍政権を糾弾し「国民は森友加計問題に少しも納得していない。憲法改正も望んでいない。」とあきらめずに一緒に歩こうと訴えた。

知事選に勝つて翁長雄志の無念を吐き出す

続いて沖縄平和運動センターの山城博治さんが発言に立った。今回の沖縄県知事選挙は、絶対な死を遂げ、命をかけて県民の未来のために心を砕いた翁長雄志知事の無念を吐き出す。その遺志を継いでいく。と叫び、選挙勝利への決意を語った。また選挙後の10月1日には埋め立て再開阻止のための結果を呼び掛けた。

©mkimpo